

**年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照の上作成すること）**

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	人権教育にかかわる学級の目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。		一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められているという存在感や安心感をもつことができるようにする。		1年間の学校生活を振り返り、自己の成長を確認させる。							
各教科・読書科		言語環境を整え、教育環境の整備を図る。		理科「受けつがれる生命」生命を尊重しようとする態度を身に付ける。		読書科「読み聞かせしよう」3年生に向けて読み聞かせを行い、グループで協力して、作り上げようとする気持ちを育てる。		国語「大造じいさんとがん」登場人物の生き方に共感しながら読み、感想をもつ。		国語「雪わたり」興味をもって物語を読み、読書発表会を通して、考えを広げたり深めたりする。		国語「まんがの方法」事象に対する自分の見方や考え方を広げたり深めたりする。	国語「みすゞがしの旅」筆者のものの見方や考え方を広げたり深めたりする。
	社会「米づくりのさかんな地域」米作りの苦労を知り大切に食べようとする。	体育(陸上)「リレー」公平・協力の態度を身に付ける。	家庭科「私の生活、大発見！」家族の一員として、自分にできる仕事を増やそうとする態度を育てる。	体育(保健)「心と健康」身体の状態と心はつながっていることを理解する。		国語「さまざまな自然と暮らし」様々な環境に適応して暮らしている人々のことを知る。		社会「私たちの生活と環境」自分たちを取り巻く環境の問題点について、自分たちにできることを考える。					
道徳	信頼・友情 互いに信頼して友情を深め、協力し助け合う心で接する。	思いやり・親切 相手の立場や気持ちを考えて温かく親切に接する。	努力・強い意志 困難なことにも粘り強く、物事をやりぬこうとしている。	家族愛 父母、祖父母に感謝し、家族の一員としての自覚をもち、明るい家庭を築こうとする心をもつ。	信頼・友情、男女の協力 男女互いに理解し合って友情を育て、協力しようとする。	公正・公平、正義 だれに対しても偏見を持たず、公正・公平に接し、正義の実現に努めようとする。	感謝 自分の生活が多くの人の支え合いによって成り立ち、答えようとしている。	勤労・社会への奉仕 社会に奉仕する喜びを知って、公共のために役に立とうとする。	愛校心 学校に愛情をもち、学校の一員としての自覚をもって、自分たちで学校をよくしようとする。	よりよく生きる喜び 人間として、よりよくいきようとしている。	国際理解・親善 外国の人々や文化について知り、国際親善に努めようとする心で接する。		
総合的な学習の時間	稲作農業を知ろう 命あるものを慈しむ心で、植物を育てる		外国語 外国の文化について興味・関心をもち、外国語を使ってコミュニケーションをとる。		「環境について調べよう、考えよう」自分たちを取り巻く環境の問題点を調べ、環境を守るためにできることを考える。								
特別活動	学級活動 自分や学級の目標を設定し、望ましい人間関係を考える。	運動会 協力し合って演技をする。友達を応援する。	学級活動 いじめのない学級づくり いじめのない学級づくりについて考える。		ユニセフ募金 互いに助け合うことの大切さに気付く。		学校応援団給食 お世話になっている地域の方々に感謝の気持ちをもつ。		展示会 友達の良さを認め合い、努力に気付く。	6年生を送る会 学級活動 自己の成長を確認し、進級に向けて、新たな目標を考える。			
その他	みどり学級との交流		みどり学級との交流										

「 」 = 個別的な視点からの取組（「 」内は人権課題） ↔ = 関連的な指導   = 「生命尊重」の精神の育成を重点とした指導